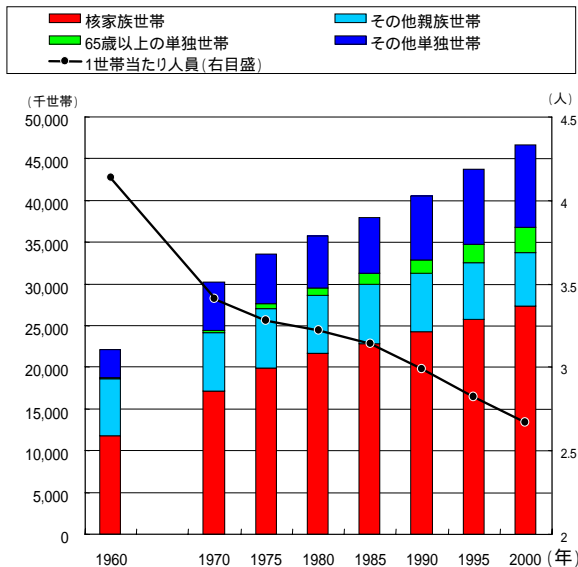


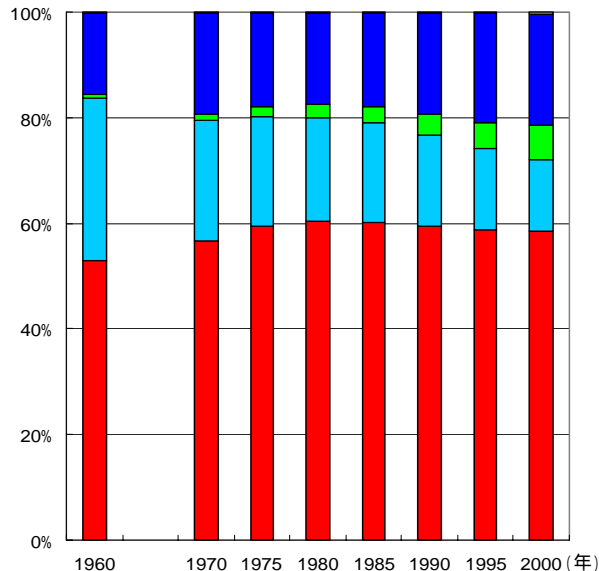
指標：類型別世帯数及び割合・1世帯当たり人員(全国)

類型別世帯数の動向をみると、核家族化や高齢化の進行を反映して、核家族世帯数や単独世帯数が増加傾向にあり、一世帯当たり人員は減少化傾向にある。

一般世帯数等の推移(全国)



一般世帯の家族類型の比率の推移



(出典)総務省「国勢調査報告」より作成。

(注) 注1: 1960年については、資料の制約のため、65歳以上とその他で単独世帯を区分していない。

注2: 1970年については、資料の制約のため普通世帯の65歳以上の単独世帯を参考に示している